

農業経営の未来戦略

～農業を営む経営体の具体例～

現代の農業経営体と地域

「地域」の重要性

- 地域のない国は存在しない

⇒そもそも国の成り立ちが地域の統合（熊襲、蝦夷、琉球など）

- 多様な地域と共通点

フランスとアメリカのワイン産業

フランスのワイン産業と日本の米産業

- 世界や国は地域の集合体

最も身近な地域 ⇒ 生活の場

現代の経済と地域

- 都市と農村の経済格差はなぜ起こる？

⇒簡単に言えば、資本主義だから。

- 「資本主義」とは？

「資本」が活動することで、大きくなっていく

⇒要するに「お金」が回って大きくなって返ってくる。

現代の経済と地域

資本の動きと地域

- 資本はより大きくなれる場所を求める。
- 都市 ⇒ 消費が大きい
- 後進国 ⇒ 人件費が安い
- 都市住民の消費するモノを海外で生産する！

- 産業の空洞化
- 資本主義の発展 ⇒ 地域の衰退 ⇒ 生活の場の衰退

経営規模の拡大の限界

・個別農業経営体の限界

- ①農地の希少性と分散錯圃による農地の限界
- ②農業という職業の地位に起因する人の限界
- ③農業の商品的特質を考慮した販売の限界

・その対応策として

農企業は5つの戦略をとるが、
その中でも、①の戦略により出荷できる農産物を
確保している。

また、④の合作社や集落営農のように、地域
の農地を地域住民が耕作するパターンがある。

農企業の経営形態と経営戦略

「戦略」について

「戦略」：一定のガバナンス下における
資源の「あり様」や配分の決定

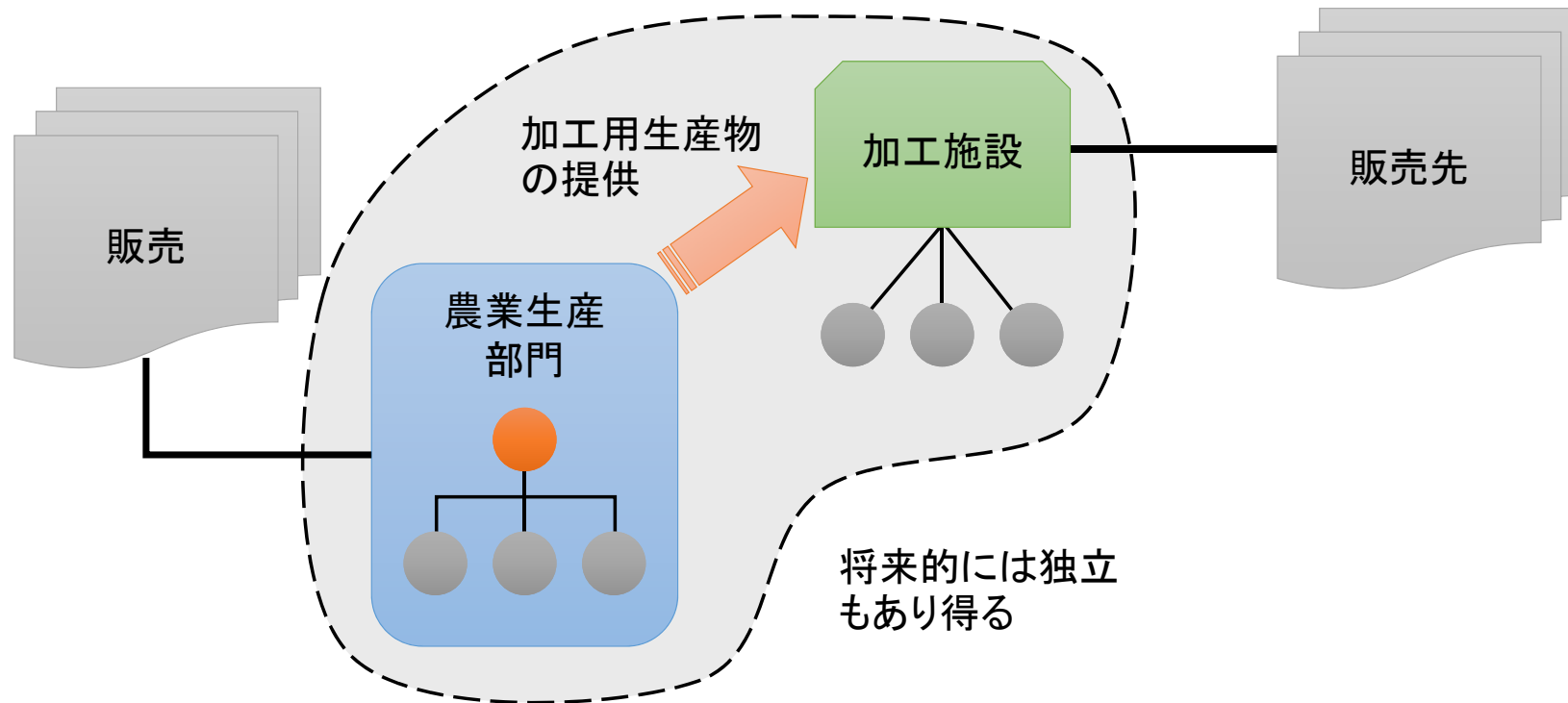
- ・どんな事業を行うか、どんな事業に参入するか。
- ・どんな事業にどれだけの資源(労働力や資金等)を投入するか。
- ・目標(ビジョン:経営全体が将来目指すべき姿)と使命(ミッション:経営が存在する理由・役割、誰にどんな価値(バリュー)を提供するのか)の設定。
- ・内部化・外部化の判断。
- ・連携、ネットワークをどのように考え、設計・実践するか。

「戦術」について

「戦術」：一定のガバナンス下における
与件としての資源の利活用の方法

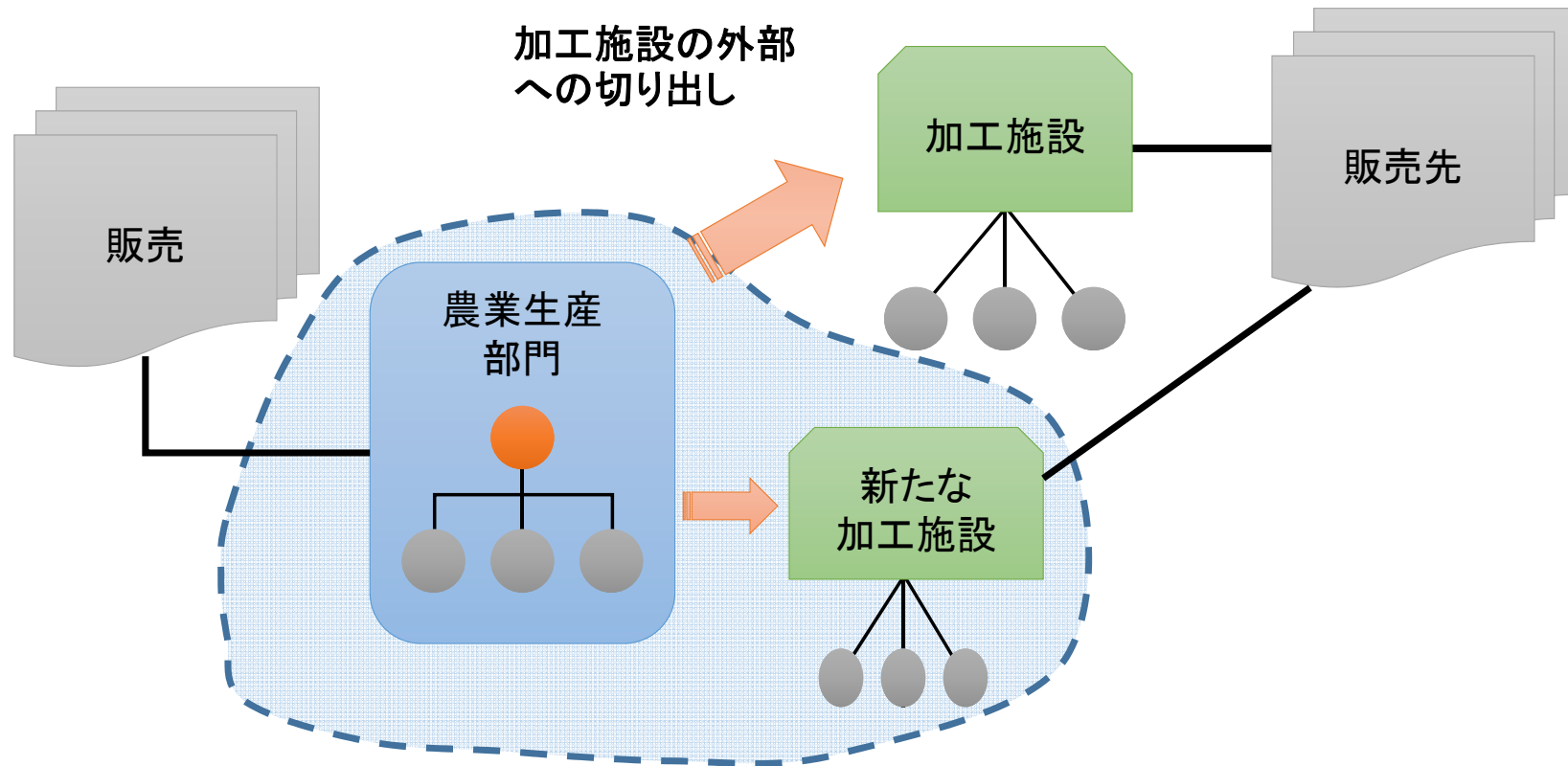
- ・与えられた資源（労働力や資金等）をどのように利活用して具体的な目標（量的・質的）を達成しうるか

①組織内部門連結型(1)



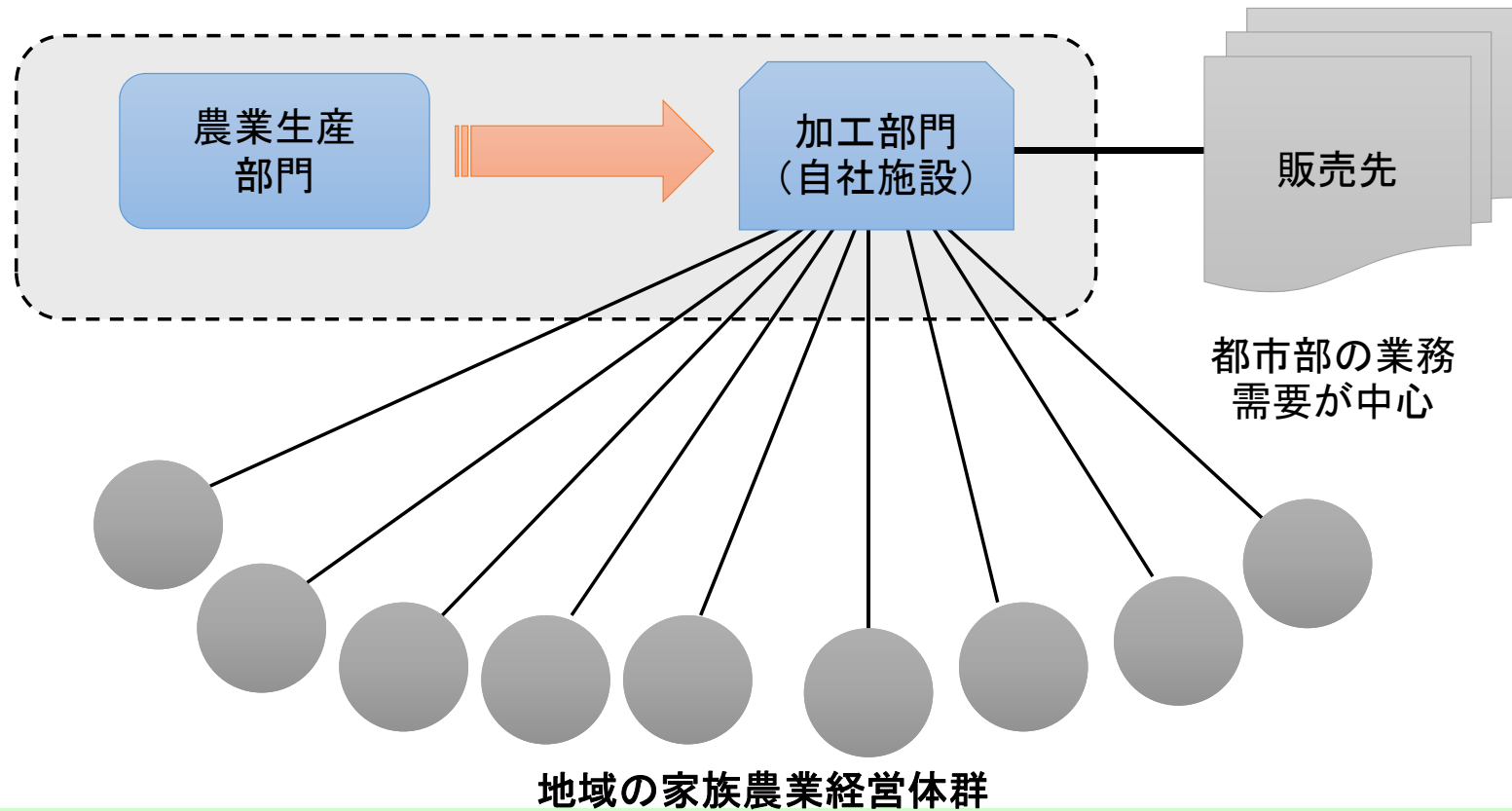
- ・多品目生産(一般ビジネス型、運動論・理念型)
⇒加工施設は組織内での生産物の受け皿として機能

①組織内部門連結型(2)



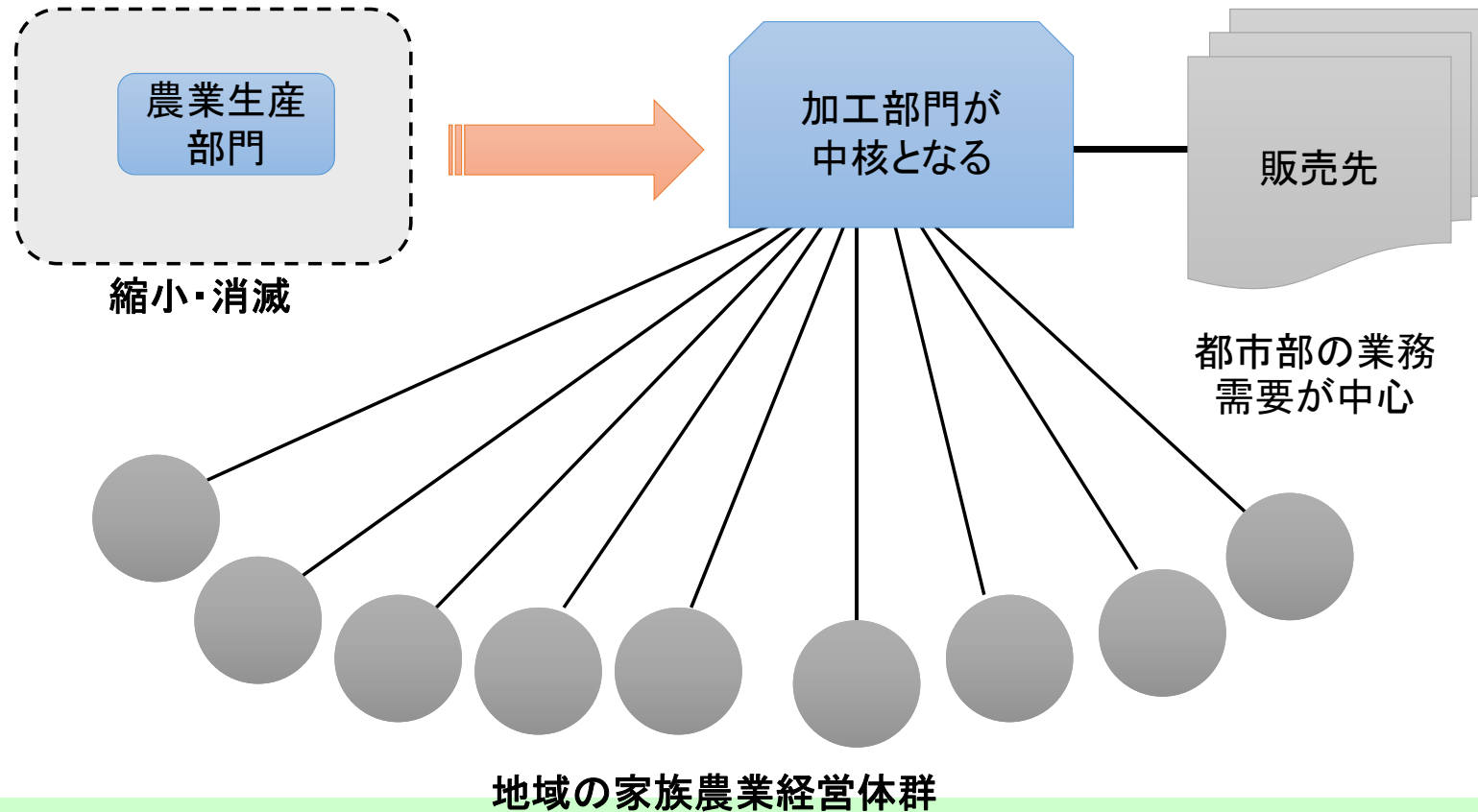
- ・独立可能な加工施設を別組織・会社として切り出す

②生産者グループ連結型(1)



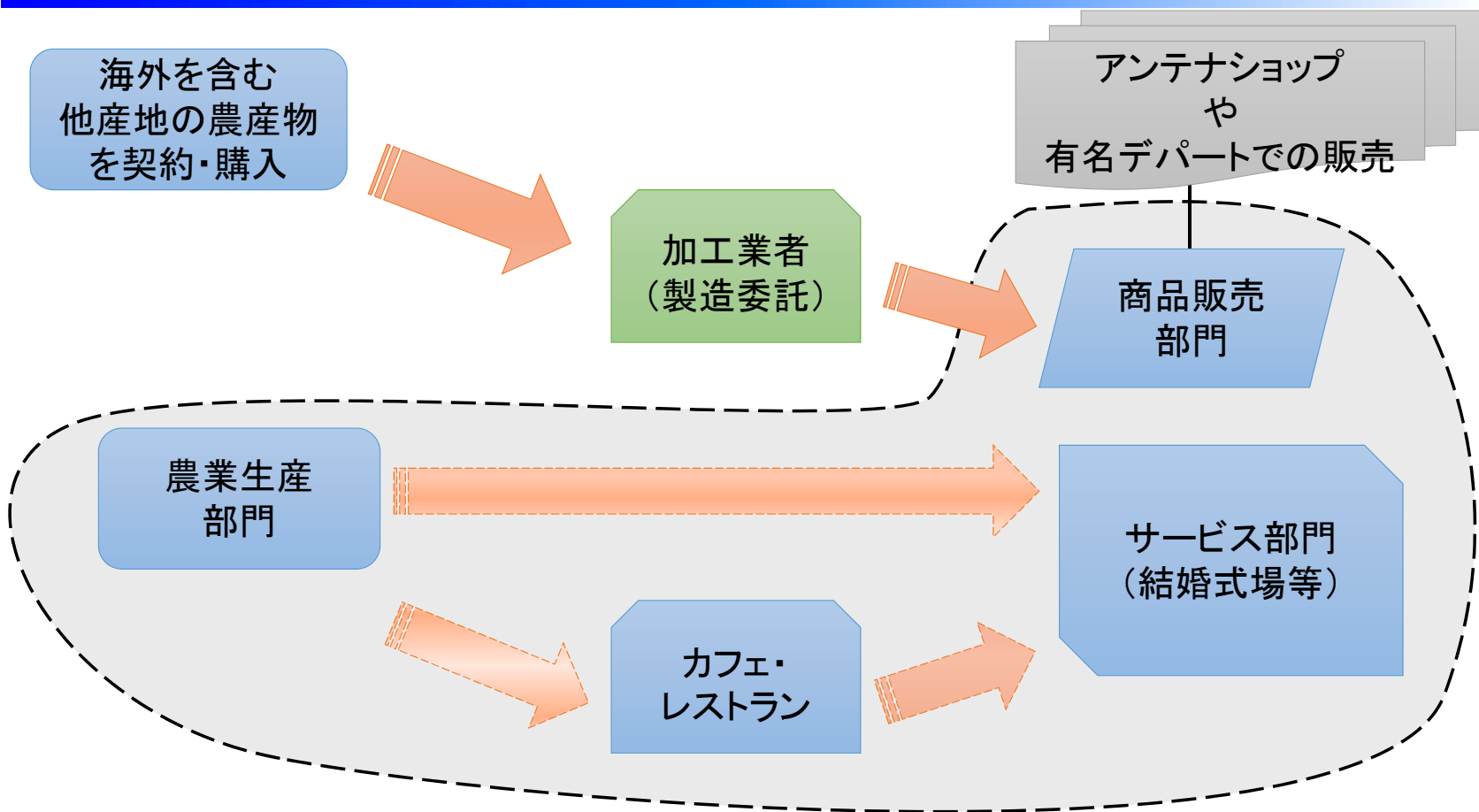
- ・単品生産
⇒原料確保のための地域ネットワークの構築が必須

②生産者グループ連結型(2) → ⑩農商工連携型へ移行



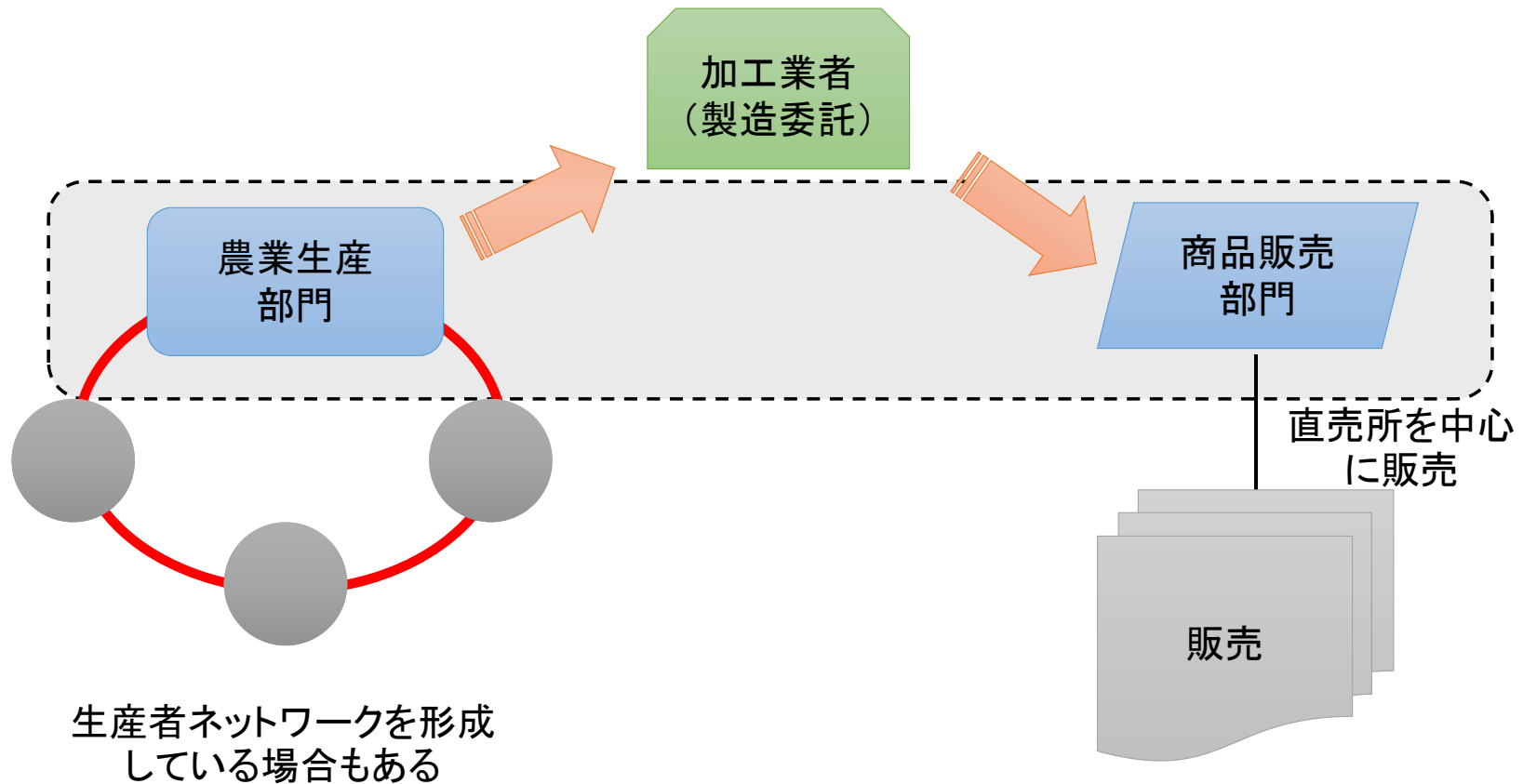
- ・単品生産
⇒原料確保のための地域ネットワークの構築が必須

③三次産業傾斜型



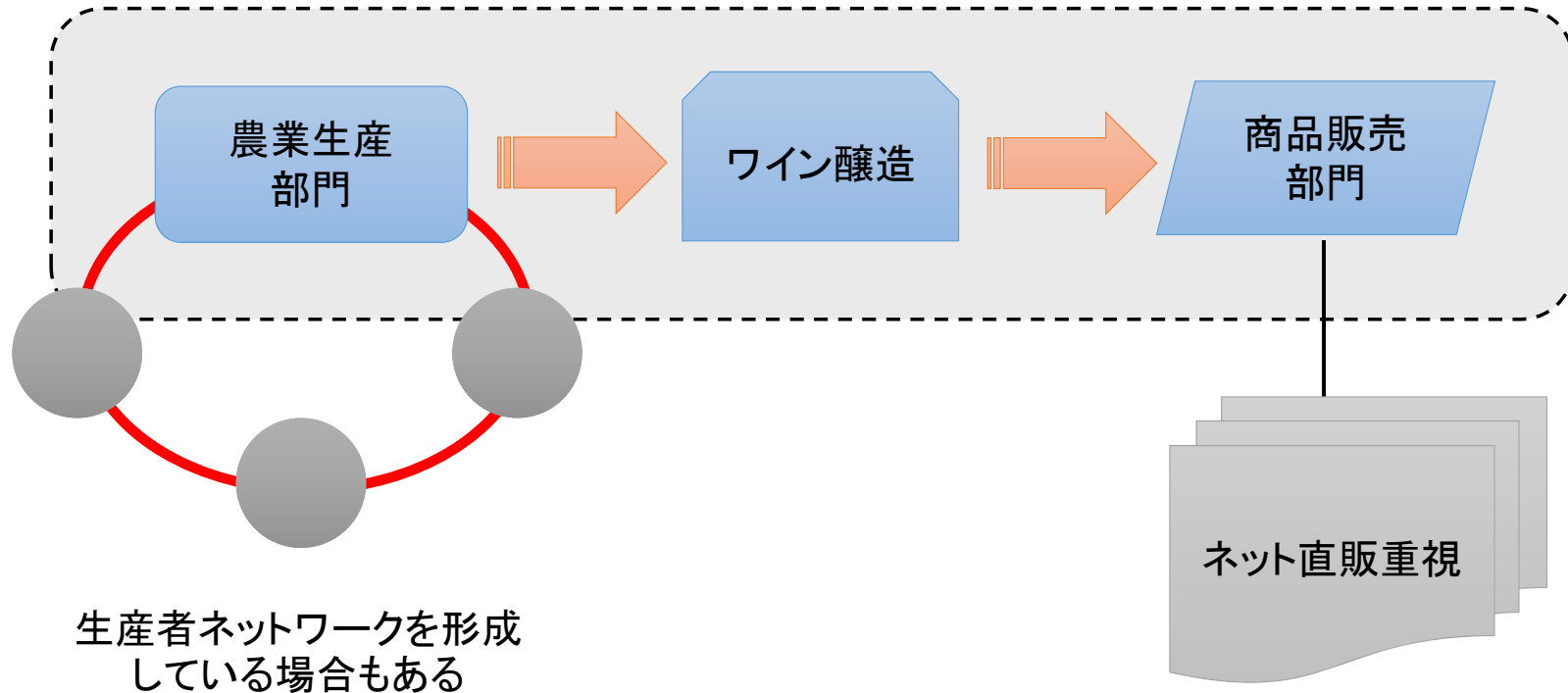
- ・従来の農産物生産をベースにしつつも、その他商品を創出し、サービスを提供⇒生産・地域資源・テロワールを有効活用

④加工事業委託(アウトソーシング)型



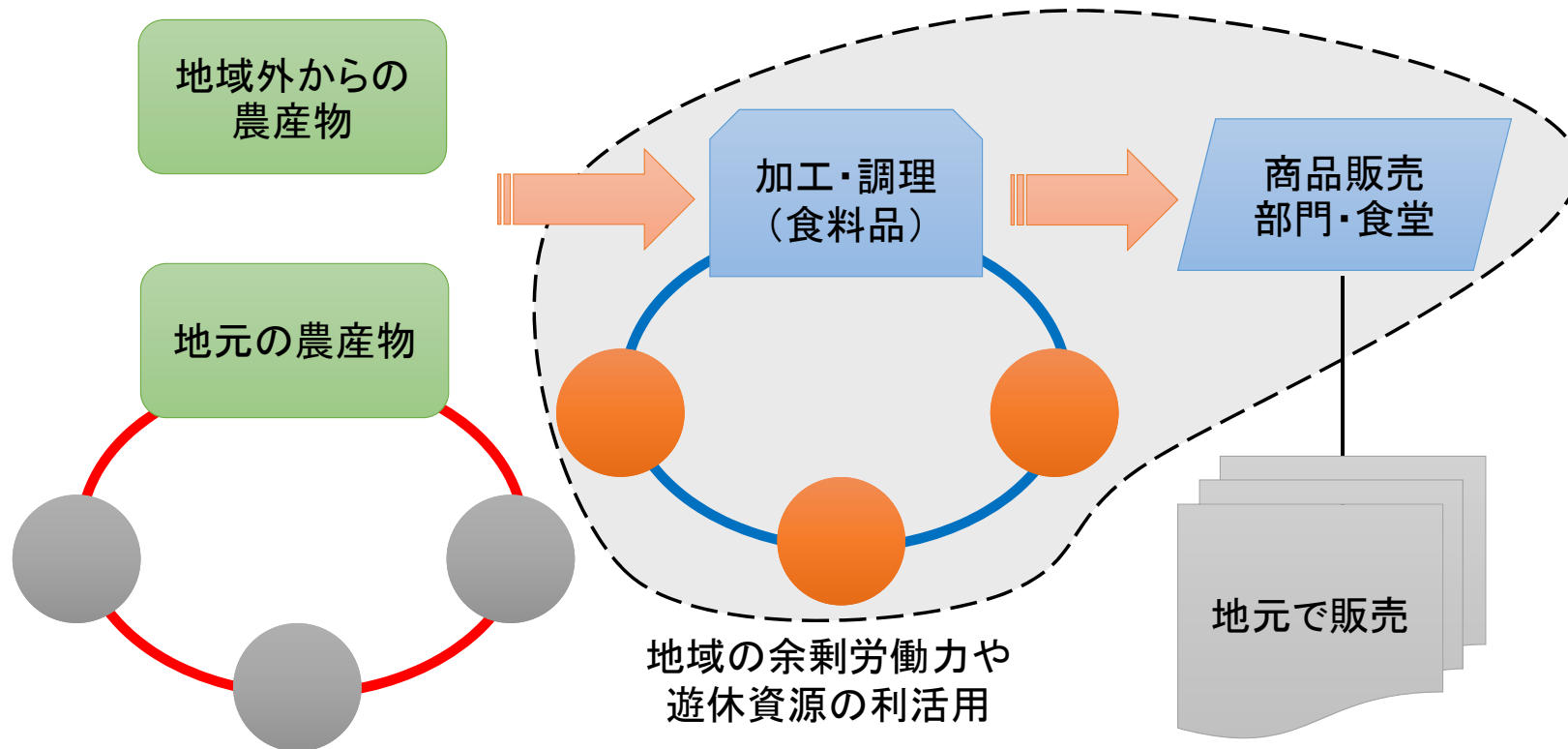
- ・農業生産を主軸とし、商品製造をアウトソーシング
⇒ニッチ市場の探索が重要(独自性の発揮には限界あり)

⑤独立系個人ワイナリー型



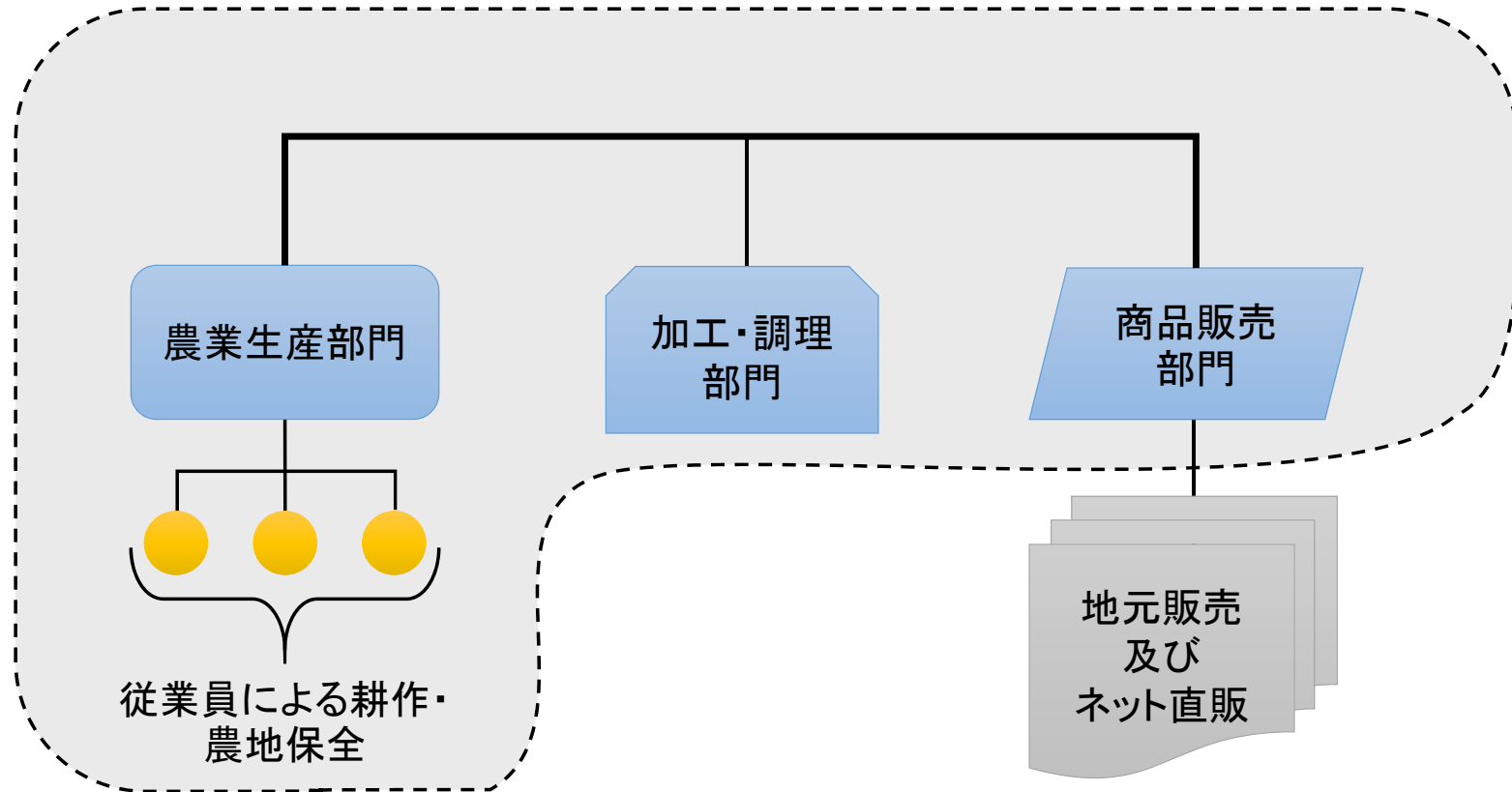
- ・個人的思いを重視した独立系ワイナリー
⇒生産・醸造・販売には限度がある(サポーターの存在)

⑥地域遊休資源利用型



- ・地域内資源(余剰労働力等)の利活用 ⇒都市農村交流を重視した地域活性化

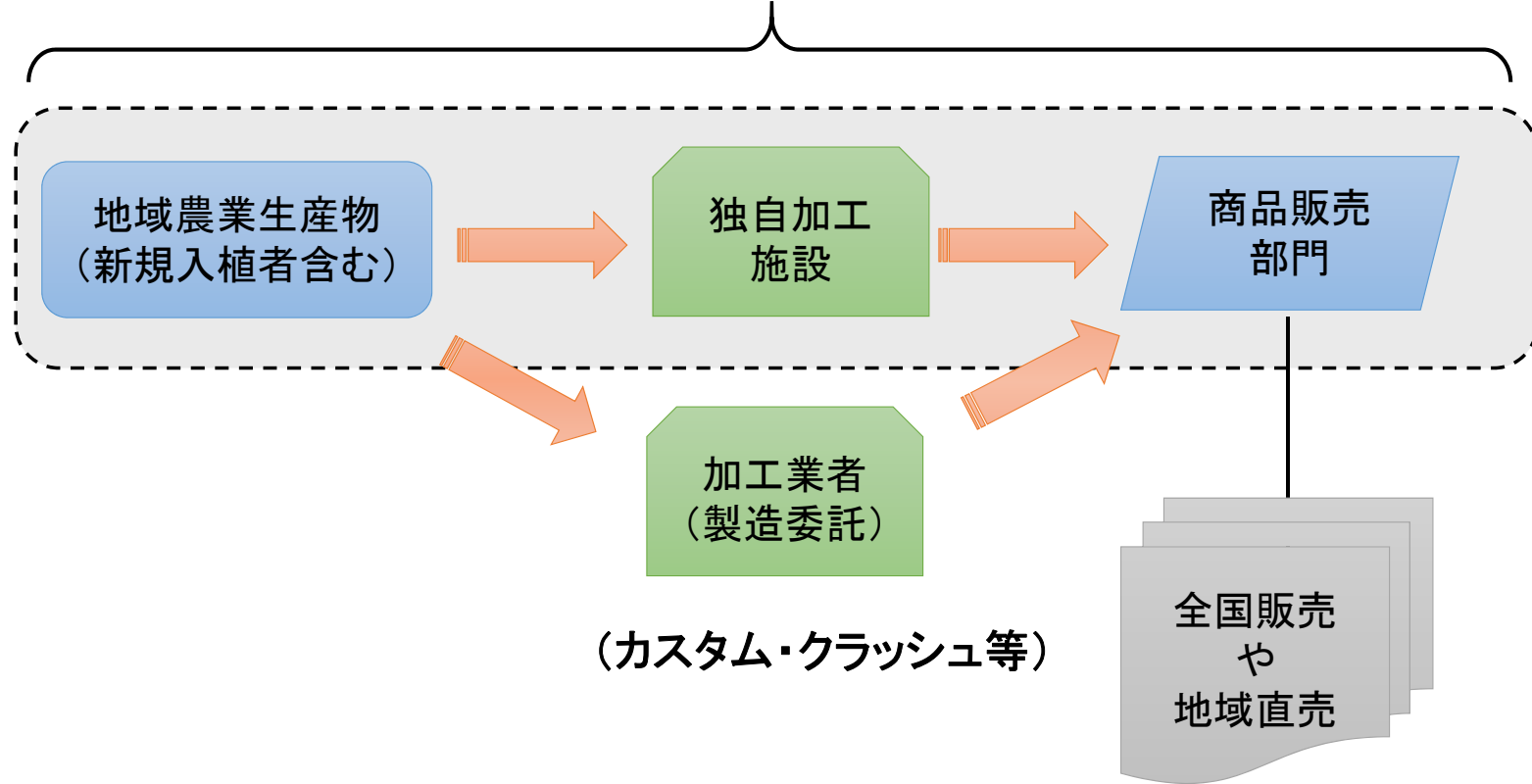
⑦地域農業生産諸資源保全型



- ・地域の農地を中核とした農業生産資源の保全
⇒地域内生産物を活かした生産物・加工の販売

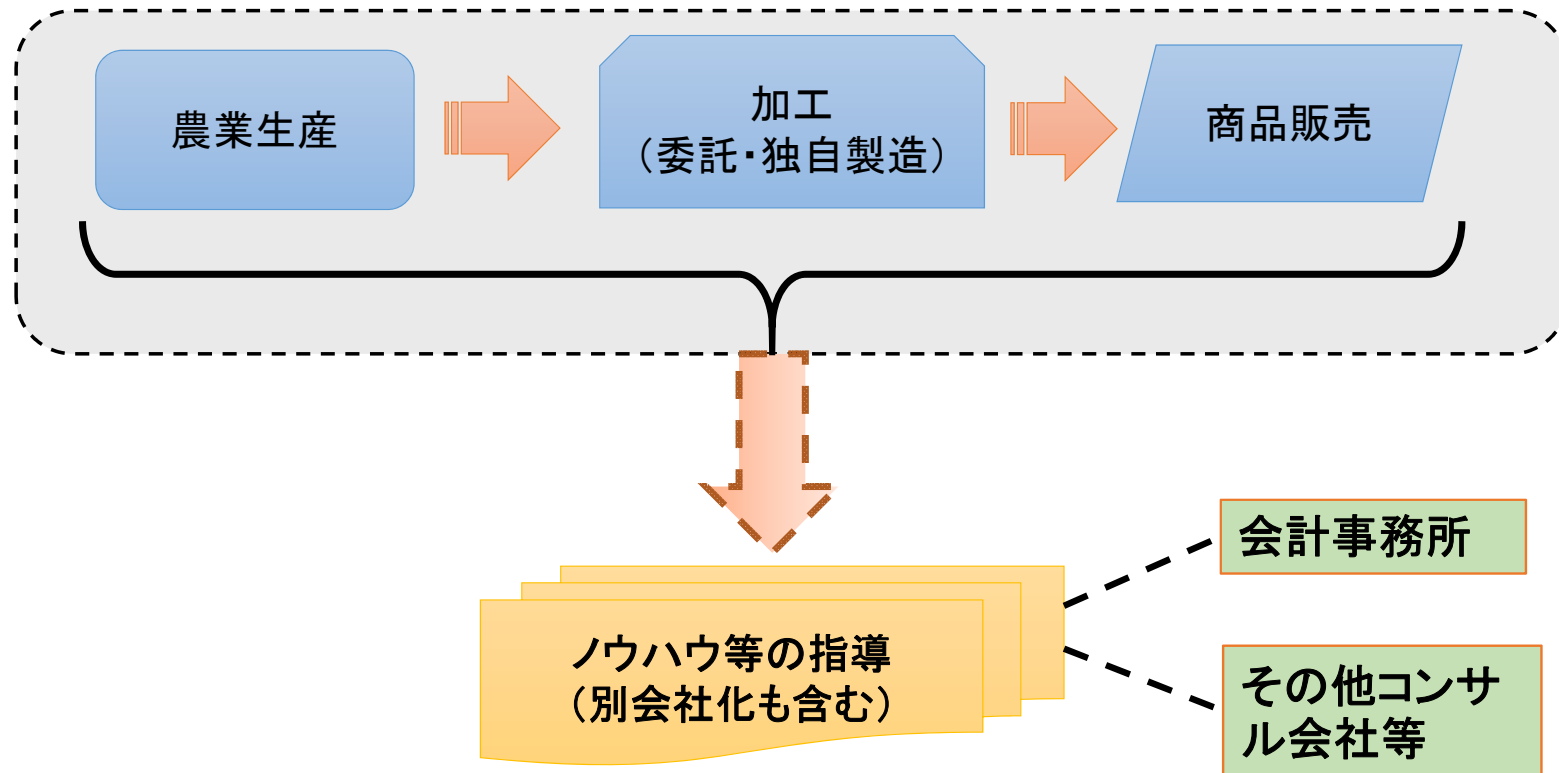
⑧地域活性化型

行政や農協等の地域主体が中核



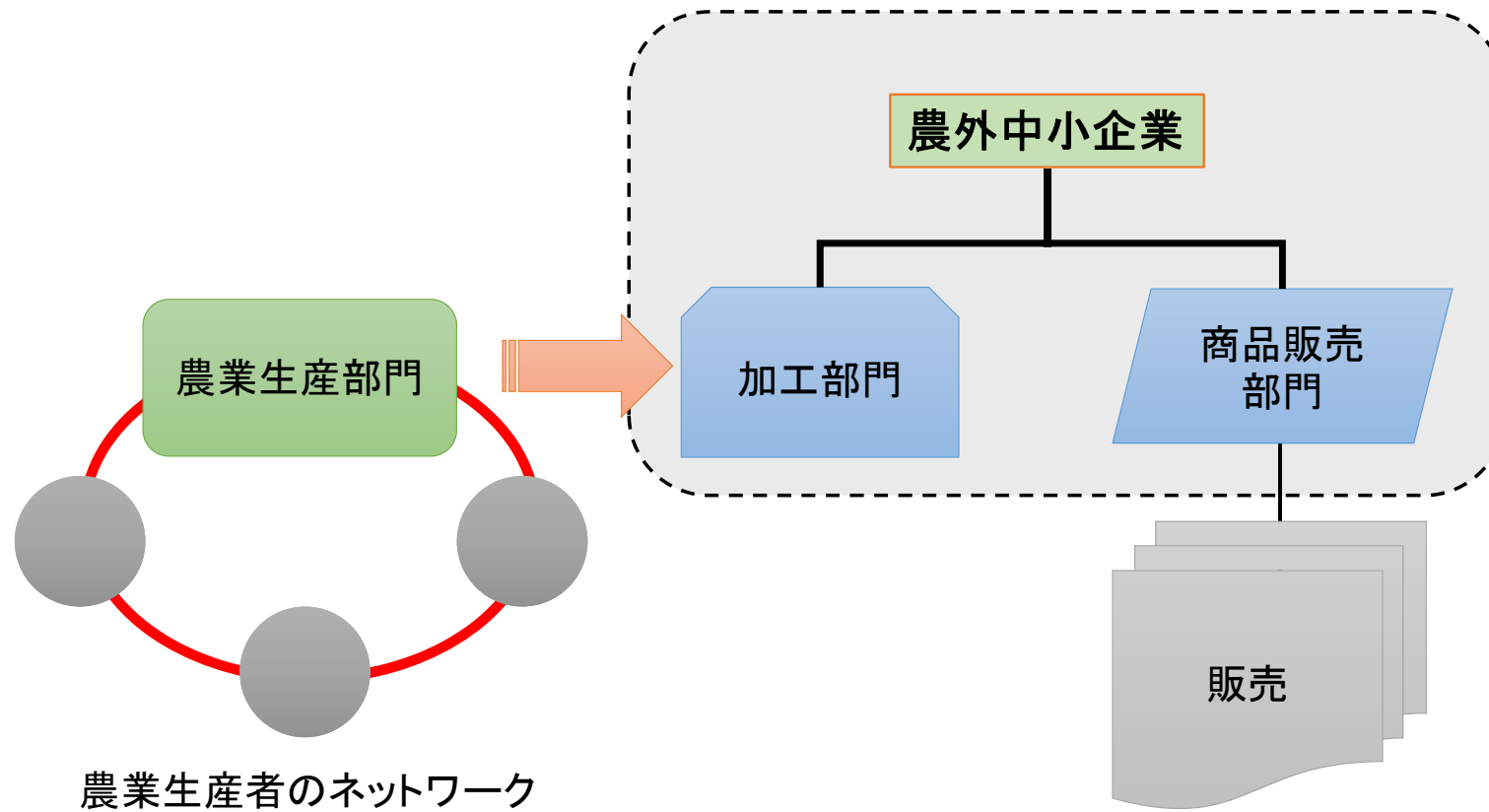
- ・産地形成(シンボルの農産物)による地域活性化
⇒行政や農協等主導による地域を挙げての加工品製造

⑨農業コンサルタント型



- ・自身の六次産業化の経験を活かしたコンサルティング業へのシフト ⇒ 会計事務所等との連携・グループ化へ

⑩農商工連携型



- ・農外中小企業(ex.カット野菜業者等)を主軸とした農商工連携

六次産業化を駆動する理念的組織・事業パターンの特徴

組織・事業の中核となる経営形態	六次産業化の理念的組織・事業パターン	農地への依存度	地域との連携	取り扱う品目数	最終製品への原料品質依存度	ガバナンス			コンフリクト
						組織	家族	地域	
主に個別農業経営 出自の企業的経営	①組織内部門連結型(一般ビジネス型)	○	○	◎	○	1	2	3	複雑
	①'組織内部門連結型(運動論・理念型)	○	○	◎	○	1	3	2	複雑
	②生産者グループ連結型	△	△		○		1		
	③三次産業傾斜型	△	△	◎		1			複雑
主に個別経営	④加工事業委託(アウトソーシング)型	○	*		△		1		
	⑤独立系個人ワイナリー型	○			◎		1		
集落・地域組織中心の経営(企業的経営やコミュニティ・ビジネス等含む)	⑥地域遊休資源利用型	◎	◎	◎		1		2	複雑
	⑦地域農業生産諸資源保全型	◎	◎	○	△	1		2	複雑
	⑧地域活性化型(既存農家重視型)	◎	◎	△	△	1			
	⑧'地域活性化型(新規入植型)	◎	○	△	△	1			
	⑨農業コンサルタント型								
	⑩農商工連携型			○	△				